



NPO 法人
mRNA ターゲット
創薬研究機構

2019 年度 第 2 回講演会

「RNA 構造予測の方法論と現実、その利用法」

演者 中村 慎吾 博士 (株式会社 Veritas In Silico 代表取締役)

近年 RNA 構造の重要性は、アカデミアにおいてだけでなく産業界でも認知されるようになってきた。RNA 構造においては、タンパク質構造と違い 2 次構造だけでも非常に有用であり、RNA の局所構造を扱う際には 3 次構造がなくとも実用上十分な場合が多い。一方、RNA は NMR や X 線結晶構造解析といった実測定には時間がかかることが多く、また長い RNA には両手法は適用しにくい。そこで、重要となってくるのはコンピュータによる構造予測法である。ここでは、計算コストと妥当性検証の観点から、重要性が高い 2 次構造予測の方法論を利用者の観点から説明する。さらに、2 次構造予測法が分子生物学・構造生物学と計算科学のはざまの技術であることによる問題点についてもご説明し、VIS 社の取り組みについても紹介する。さらに 3 次構造の予測と同様の試みとしては、VIS 社では実測と分子軌道計算を組み合わせた方法を実現しようとしておりそれについても紹介したい。

日時:2019年10月25日(金) 15:00~17:00

場所:ペリエホール Room C (JR千葉駅直結)

参加資格: 正会員、学生会員、賛助会員 ※賛助会員(団体) 1口5名まで

参加登録: 必要、参加費:無料 (事前に年会費をお支払いください)

入会および参加登録の情報はホームページで <http://www.mrna-target.org/>

問合せ先:お問い合わせ npo_support@mrna-target.org